

2022年度 お茶の水女子大学大学院  
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学 専攻

一般入試・社会人特別入試・外国人留学生入試

小 論 文 試 験

試 験 日 : 2021年 9月 5日(日)

試 験 時 間 : 9時30分 ~ 11時30分

**【注意事項】**

1. 問1、問2、問3のうち、2問を選んで解答しなさい。
2. 設問ごとにそれぞれ別の答案用紙に解答を記入すること。
3. 日本語で解答すること。

## 問1

以下の（１）と（２）の問いに答えなさい。

（１）以下の表は、2020年度に日本で実施された調査において、今後テレワークで働きたいかを尋ねた結果を示したものである。どのような人がテレワークで働きたい傾向にあるのか、この表から読み取れることを記述しなさい。

（２）「テレワークは女性に適した働き方である」という見方がある。その見方についてどのように考えるか。表から読み取れることや、日本あるいは他国の現状を踏まえつつ、論じなさい。

表 今後のテレワーク実施意向

	「積極的にしたい」・ 「出来ればしたい」	「どちらとも言えない」	「出来ればしたくない」・ 「全くしたくない」
女性	35.6%	31.7%	32.8%
男性	35.4%	30.7%	33.9%
小学3年生以下の子供がいる女性	39.2%	31.3%	29.6%
小学3年生以下の子供がいる男性	39.2%	29.9%	30.9%
小学3年生以下の子供がいない女性	27.8%	33.9%	38.3%
小学3年生以下の子供がいない男性	30.7%	33.2%	36.0%
正規雇用の女性	45.2%	27.6%	27.2%
正規雇用の男性	37.6%	30.4%	32.0%
非正規雇用の女性	27.1%	35.3%	37.6%
非正規雇用の男性	22.8%	32.4%	44.9%

テレワーク経験の有無は問わない。

出典：内閣府「令和2年度 男女共同参画の視点からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響等に関する調査報告書」p.75のデータに基づき作成。

[https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/pdf/covid19\\_r02/06.pdf](https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/pdf/covid19_r02/06.pdf)

（2021年8月3日取得）

## 問2

以下の（1）～（3）の問いに答えなさい。

（1）日本はよく「災害大国」と言われるが、その理由について述べなさい。

（2）災害に配慮した持続可能なまちづくりとはどのようなものが考えられるか、具体例（日本国内でなくても良い）をあげて述べなさい。

（3）災害発生時に起こりうる様々な格差に関わる問題とその解決策について、自由に述べなさい。その際、以下の3つの単語を必ず使用しなさい。  
社会経済的格差、地域格差、ジェンダー格差

### 問3

日本における非正規雇用について論じた以下の英文を読み、(1)と(2)の問いに答えなさい。

(1) reproductive bargain とは何か。英文の内容を踏まえて説明しなさい。

(2) reproductive bargain の考え方を踏まえて、日本における非正規雇用の状況について論じなさい。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章については、  
著作権法上の問題から掲載することが  
できませんので、ご了承ください。

出典：Heidi Gottfried (2009) "Japan: The Reproductive Bargain and the Making of Precarious Employment." In Leah F. Vosko, Martha MacDonald and Iain Campbell (eds.), *Gender and the Contours of Precarious Employment*. London: Routledge, pp. 76-91 より抜粋、一部改変。